

平成 26 年度  
小樽商科大学

**公開講座・公開授業 案内**  
**【後期】**



2014年

## 目次

I ご挨拶	.....P 1
II 公開講座のご紹介	
1 公開講座について	.....P 2
2 受講手続きについて	.....P 3
3 公開講座概要	.....P 4
III 公開授業(通常授業公開講座)のご紹介	
1 公開授業について	.....P 5
2 受講手続きについて	.....P 9
3 受講にあたっての注意とお願い	.....P 11
4 授業内容	.....P 12
受講申込書記入例	.....P 28
受講申込書	.....P 29
平成 26 年度行事予定	.....P 30
平成 26 年度講義室・ゼミ室配置図	.....P 31
学内案内図	.....裏表紙

### I ご挨拶

小樽商科大学は、前身の小樽高等商業学校時代を含めると、102年の歴史を重ねて参りました。全国でも最小クラスの国立大学である本学が、このような長い伝統を築き上げることができたのも、小樽を始めとする地域の方々の様々な支援があったお蔭と、厚く御礼申し上げます。従いまして本学は、こうして蓄積してきた知的ノウハウを地域に還元することを、教育・研究と並ぶ重要な使命であると考え、本年度も公開授業・公開講座を開講することといたしました。

公開授業は、通常の夜間主コースの授業を学外の方にも聴講可能にする制度です。夜間主コースの前身は本学短期大学部であり、短期大学部は戦後、勤労者向け高等教育機会を拡充させたいという地元の強い要請から設置された経緯があります。その意味からも、夜間主コース科目を公開授業とすることは、コース本来の趣旨に合致することでしょう。

現代は資格の時代とも呼ばれ、社会に出てからも勉学に親しむ機会が増えていますが、そうした「学び」の基本中の基本である語学を学び直すのも、頭脳のリフレッシュには一興ではないでしょうか。一人でも多くの方々が、緑ヶ丘を訪れ、学ぶ喜びを再び体験していただくことを、心より願っています。

小樽商科大学教育担当副学長  
鈴木将史

## Ⅱ 公開講座のご紹介

### 1 公開講座について

本学では、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携を深めるために、毎年、一般市民の方々のための公開講座を開催しています。今年度後期は本学言語センターより、語学 1 講座を用意しました。

#### (1)2014 年度開設講座

講座名	開催日・時間	時間	場所	募集定員
外国人による集中中国語講座(後期)	9月2日～11月11日 毎週火曜日 (9月23日は除く)	18:30-20:00	172AL	20名

- ・中国語:初・中級程度
  - ・講座は受講料 7,200 円、全 10 回です。
  - ・講座の概要については、P4 をご覧ください。
- ※前期とは異なる教室ですのでご注意ください。

#### (2)会場

小樽商科大学内 5 号館で開催します。教室の場所は裏表紙の学内案内図でご確認ください。

#### (3)募集期間

8 月 29 日(金)まで受付します。

申込受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

#### (4)その他

##### ①修了証書

**出席率 50%以上**で公開講座修了証書を発行します。

##### ②自家用車で来学される方へ

受講期間内のみ利用可能な臨時入構許可証を発行しますので、受講申込書に車両ナンバー等をご記入ください。大学内への入構許可証です。講座の開講曜日以外は使用できません。)

臨時入構許可証をフロントガラスから視認できる位置に掲示の上、指定された駐車場をご利用ください。

##### ③附属図書館の利用について

一般市民の方はどなたでも、本学の図書館を利用することが可能です。ご利用を希望される場合は ID カードを作成する必要がありますので、図書館カウンターで所定の手続きをお取りください。

## 2 受講手続きについて

受講申込書(P.29)に必要事項を記入し、申込期間内に窓口または郵送でお申し込み下さい。お電話でのお申し込みはできません。郵送でのお申し込みの際には、振込用紙返送のための**返信用封筒(住所・氏名(様)記入・82円切手貼付)を同封**下さい。なお、一旦お支払いいただいた受講料は払戻しできませんので、ご注意ください。

### 問い合わせ・申込先

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号  
小樽商科大学学務課学部教務係  
(事務棟1階・学生センターカウンター)  
TEL:0134-27-5244 FAX:0134-27-5243  
e-mail:gakubu@office.otaru-uc.ac.jp

受付時間 8:30~19:30  
土日祝日、8月13日(水)~15日(金)を除く

## 3 公開講座概要

外国人による集中中国語講座(後期)	
<p>前期同様、本学によって、中国語に興味を持っている地域の皆様に学習の場とチャンスを提供します。中国語の初心者や発音に自信のない中級レベルの学習者を対象にし、受講者の中国語レベルが一層高まることを願い、引き続き講義を行います。初級から中級へのレベルアップを目的とし、日常的な場面を設定して会話の授業を展開します。また、基本文法の学習を導入します。</p> <p>中国語を学習することによって、異なる文化や風習に親しみ、相互理解を深め、国際交流により興味を持って頂ければ幸いです。</p> <p>教材は「楽しく学ぼう やさしい中国語」(ikubundo)の後半を使用します。教室でプリントを配布します。</p>	
担当講師： 李 鉄君(り てつくん)	
開催場所： 本学 5 号館 2 階 172AL	
受講料： 7,200 円	毎週火曜日 18 時 30 分～20 時 00 分
募集定員： 20 名	9/2、9/9、9/16、9/30、10/7、10/14、10/21、10/28、11/4、11/11 全 10 回(9/23 除く)

### Ⅲ 公開授業（通常授業公開講座）のご紹介

#### 1 公開授業について

本学では、一般市民の方々が学生とともに受講できるよう夜間主コースの正規授業の一部を開放しています。この機会に、キャンパスライフを体験しながら、本学の授業を皆様のブラッシュアップ、スキルアップにお役立てください。

##### (1) 講座名

「小樽商科大学通常授業公開講座」(通称:公開授業)

試験、レポートの提出等を行わず、授業視聴のみの参加となります。単位、資格等は取得することができませんご注意ください。

##### (2) 2014 年度通常授業公開講座一覧

#### ★ 夏学期科目

	期間	開講科目名	担当教員	募集人数	内容	科目区分
※1	8月18日～26日	政治学Ⅱ	△大場崇代	3名	P12	共通科目
		人文科学特別講義	△堀 雅彦	若干名	P13	共通科目
※2	9月4日～11日	歴史学Ⅱ	荻野富士夫	若干名	P12	共通科目
	9月12日～22日 (9月20日は除く)	環境科学	八木宏樹 他	若干名	P13	共通科目

※1 平日17:45-20:55(休憩 19:15-19:25)  
土曜14:30-19:15(休憩 16:00-16:10、17:40-17:45)  
☆8月23日は、17:45-19:15

※2 平日17:45-20:55(休憩 19:15-19:25)  
土曜14:30-19:15(休憩 16:00-16:10、17:40-17:45)

★ 後期科目(10月～翌年2月初開講)

時間割		開講科目名	担当教員	募集人数	内容	科目区分	
月	6	17:45-19:15	日本文学Ⅰ	中村史	若干名	P14	共通科目
			外国文学	李賢峻	若干名	P14	共通科目
			化学Ⅰ	沼田ゆかり	若干名	P15	共通科目
			財務会計概論	二村雅子	5名	P15	商学科
			情報と職業	△渡邊文彦	制限なし	P16	社会情報学科
	7	19:25-20:55	市場システム論Ⅱ	鈴木和宏	5名	P16	商学科
		知識科学基礎	芳澤聡	制限なし	P17	社会情報学科	
火	6	17:45-19:15	ドイツ語Ⅰ-2 (木曜日との週2回)	副島美由紀/△杉浦康則	若干名	P17	外国語科目
			フランス語Ⅰ-2 (木曜日との週2回)	高橋純/尾形弘人	若干名	P18	外国語科目
			中国語Ⅰ-2 (木曜日との週2回)	嘉瀬達男/△加藤真司	若干名	P18	外国語科目
			情報システム論	沼澤政信、原口和也	制限なし	P19	社会情報学科
	7	19:25-20:55	基礎数学	赤塚広隆	若干名	P19	共通科目
			商法Ⅰ	河森計二	制限なし	P20	企業法学科
水	6	17:45-19:15	倫理学	久保田顕二	若干名	P20	共通科目
			社会学Ⅱ	佐藤雅浩	若干名	P21	共通科目
			行政法Ⅰ	石黒匡人	5名	P21	企業法学科
	7	19:25-20:55	経営学原理	小田福男	5名	P22	商学科
木	6	17:45-19:15	言語コミュニケーション論	山田久就	若干名	P22	共通科目
			経営管理論	加賀田和弘	5名	P23	商学科
			法学	多木誠一郎	制限なし	P23	企業法学科
			※1 情報処理	中村隆志	5名	P24	社会情報学科
	7	19:25-20:55	ドイツ語Ⅰ-2 (火曜日との週2回)	副島美由紀/△杉浦康則	若干名	P17	外国語科目
			フランス語Ⅰ-2 (火曜日との週2回)	高橋純/尾形弘人	若干名	P18	外国語科目
			中国語Ⅰ-2 (火曜日との週2回)	嘉瀬達男/△加藤真司	若干名	P18	外国語科目
			国際経済と現代	柴山千里	5名	P24	経済学科
			民法Ⅱ	林誠司	制限なし	P25	企業法学科
			経営システム基礎	深田秀実	制限なし	P25	社会情報学科
金	6	17:45-19:15	経済と統計	劉慶豊	3名	P26	経済学科
			憲法Ⅱ	小倉一志	制限なし	P26	企業法学科
			※2 統計科学	小笠原春彦	制限なし	P27	社会情報学科
	7	19:25-20:55	社会情報入門	大津晶、沼澤政信	制限なし	P27	社会情報学科

※1 Windowsの基本操作ができること。

※2 統計学の入門または概論程度を修了していること。

(3)開講期間

夏学期科目	平成 26 年 8 月 18 日 (月) ~平成 26 年 8 月 26 日 (火) 平成 26 年 9 月 4 日 (木) ~平成 26 年 9 月 11 日 (木) 平成 26 年 9 月 12 日 (金) ~平成 26 年 9 月 22 日 (月) 科目がどの期間に該当するかは、P5 の表をご参照ください。
後期科目	平成 26 年 9 月 29 日 (月) ~平成 27 年 2 月 6 日 (金)

※ 夏学期科目は日曜日以外の連続する上記日程で平日 2 回分、土曜日は 3 回分の計 15 回の授業を受けることになります。(8 月 23 日の土曜日は 1 回分)

※ 講義は教員の都合により休講になる場合がありますので、本学学生と同様に、受講前に必ず、学生連絡室で休講情報を確認の上、受講されるようにお願いします。(電話問合せ不可)

なお、休講情報は携帯電話やパソコンのインターネットで確認が可能です。

サイトアドレス <http://www.camjam.jp/>

※ 各科目の授業開始日は、オリエンテーション時間割(P.9)をご覧ください。

(4)授業時間

	4講目	5講目	6講目	7講目
時 間	14:30~16:00	16:10~17:40	17:45~19:15	19:25~20:55

※1 回の授業時間は 90 分です。

※4、5 講目は夏学期の土曜日のみです。

(5)講義室

履修学生数の増減により、**講義室は変更になる場合があります**。変更になった場合には、国際交流センターラウンジ前に掲示しますので、確認の上、受講されるようにお願いします。

(6)受講方法

受講申込手続きをされた方には、公開講座受講証を発行しますので、来学する際は必ず携行され授業時間中は受講証を机上の見やすいところに置いて受講してください。



(7) 募集人数

2014 年度通常授業公開講座一覧(P5～6)の募集人数の欄をご覧ください。申込受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。

(8) 受講料

前期科目・後期科目・夏学期科目・・・1 科目につき 9,200 円

外国語科目(前期・後期それぞれ週 2 回)・・・1 科目につき 13,200 円

※ 受講料にはテキスト代、教材費等は含まれません。

(9) 申し込み期間

後期科目 平成 26 年 9 月 29 日(月)～10 月 3 日(金)(土日祝日を除く)

(申込受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。)

\* 夏学期科目は、4 月 8 日から講義開始 2 日目までとします。

(10) その他

① 修了証書

通常授業公開講座では、単位は修得することはできませんが、出席率 70%以上で通常授業公開講座修了証書を発行いたします。学生センターの学部教務担当カウンターに出席簿を置いておきますので、受講前又は受講後に毎回サインをしてください。

② 自家用車で来学される方へ

受講期間内のみ利用可能な臨時入構許可証(駐車証)を発行しますので、受講申込書に車両ナンバー等をご記入ください。

駐車場所は 3 号館講義棟前となります。構内の通行の妨げとなる場所への駐車はお止めください。駐車時は臨時入構許可証をフロントガラスから視認できる位置に掲示してください。

③ 附属図書館の利用について

一般市民の方はどなたでも、本学の図書館を利用することが可能です。ご利用を希望される場合は ID カードを作成する必要がありますので、図書館カウンターで所定の手続きをお取りください。

## 2 受講手続きについて

### (1) 受講の試聴期間

受講を希望される方に、授業の概要を把握し、受講する科目を決定する際の便宜を図るため、本学学生のオリエンテーション期間を試聴期間として提供します。

#### 試聴期間:

後期 平成 26 年 9 月 29 日(月)～10 月 3 日(金)

この期間は、学生と一緒にガイダンスを聞いて、授業を選択するかどうかの参考にしてください。

オリエンテーションは 1 回の時間を 40 分として、10 分の休憩をはさみ、1 講の間に同じ内容のオリエンテーションを 2 回実施します。

### ●●● オリエンテーション(ガイダンス)時間割 ●●●

#### 【後期】

日時	6 講目		7 講目	
	1 回目 17:45～18:25		1 回目 19:25～20:05	
	2 回目 18:35～19:15		2 回目 20:15～20:55	
	科目名	講義室	科目名	講義室
9 月 29 日(月)	日本文学 I	104	市場システム論 II	211
	外国文学	401	知識科学基礎	407
	化学 I	211		
	財務会計概論	406		
	情報と職業	303		
9 月 30 日(火)	情報システム論	406	基礎数学	211
			商法 I	413
10 月 1 日(水)	倫理学	104	経営学原理	211
	社会学 II	105		
	行政法 I	413		
10 月 2 日(木)	言語コミュニケーション論	401	国際経済と現代	303
	経営管理論	211	民法 II	406
	法学	413	経営システム基礎	407
	情報処理	(情)第 3		
10 月 3 日(金)	経済と統計	211	社会情報入門	211
	憲法 II	401		
	統計科学	406		

※(情)第 3 とは、「情報処理センター第 3 実習室」のことです。

- ★ 外国語科目はオリエンテーションを行わずに、初回から授業を行います。  
初回の授業を試聴日とします。

	科目名	視聴日	講義室
後期	ドイツ語 I-2	9月30日(火)6講目	212
	フランス語 I-2	9月30日(火)6講目	407
	中国語 I-2	9月30日(火)6講目	LL2

- ★ 夏学期科目はオリエンテーションがありませんので、初日の6講目(17:45~19:15)を試聴日とします。  
講義室は、カウンターまたは掲示室でご確認ください。

	科目名	視聴日	講義室
夏学期	政治学Ⅱ	8月18日(月)6講目	104
	人文科学特別講義		211
	歴史学Ⅱ	9月4日(木)6講目	211
	環境科学	9月12日(金)6講目	211

※ 講義室は変更になる場合があります。授業開始前に、3号館2階国際交流センターラウンジ前でご確認いただくようお願いいたします。場所は、裏表紙の案内図をご参照ください。

(2) 受講申込

- ① 受講を希望される場合は、**顔写真**(縦 3 cm × 横 3cm、受講証用)1 枚を添えて、必要事項を記入した**受講申込書**(P.29)を、申込期間内に窓口または郵送にてご提出ください。お電話でのお申し込みはできません。受付の際に振込用紙をお渡しいたしますので、申込日より 1 週間以内に受講料をお支払いください。なお、**一旦お支払いいただいた受講料は払戻しできません**ので、ご注意ください。
- ② 通常授業公開講座受講証及び車で通学される方には臨時入構許可証を用意いたしますので、次回の授業に出席される前に学部教務担当カウンターにお寄りください。

(3) 問い合わせ・申込先

〒047-8501  
小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号  
小樽商科大学学務課学部教務係  
(事務棟 1 階・学生センターカウンター)  
TEL: 0134-27-5244  
E-mail: gakubu@office.otaru-uc.ac.jp

受付時間 8:30～19:30(土日祝日、8月13日(水)～15日(金)を除く)

### 3 受講にあたっての注意とお願い

(1) 受講生の呼び出し等

授業中その他、受講生の呼び出し等には、対応できかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

(2) 受講生の義務

受講生は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障が及ぶことがないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

(3) 受講の停止

受講生が義務に違反し、本学秩序を乱し、又は受講生としてふさわしくない言動があった場合には、受講を停止することもあります。

(4) 事故・盗難等

学内における事故・盗難等について、大学側では責任を負いかねますので十分気をつけてください。

(5) 損害賠償

受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、その損害を賠償しなければならないことがあります。

#### 4 授業内容

科目名	政治学Ⅱ			ガイダンス日	8/18	夏学期
担当教員	大場 崇代			募集人数	3名	
開講時間	8/18-8/26(P9参照)	教室	104	受講料	9,200円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 本講義は「政治社会」としての国家とナショナリズムについて、および現実の政治の課題について考えるための基本知識を得ようとするものである。 本講義を通して獲得が期待される能力・技能は、以下の通りである。 ○これからの政治の課題や国家のありようについて概略を説明できる。				10	②女性の政治参加	ii
				11	③高齢者の政治参加	
				12	④一般国民の政治的態度	i
				13	⑤一般国民の政治的態度	ii
				14	現実政治の課題	⑥司法と政治
				15	まとめ	
<b>2.授業内容</b> 1 国家 ①範疇 2 国家 ②形態 i 3 国家 ③形態 ii 4 国家 ④グローバルとローカル i 5 国家 ⑤グローバルとローカル ii 6 国家 ⑥民族問題 i 7 国家 ⑦民族問題 ii 8 国家 ⑧ナショナリズム 9 現実政治の課題 ①女性の政治参加 i				<b>3.使用教材</b> 山本佐門『現代国家と民主政治』(北樹出版)		
				<b>4.履修上の注意事項</b> 「政治学Ⅰ」を履修している前提で講義を行う(「政治学Ⅰ」で講義済みの内容は説明しない)。 講義中に予告なく小テストを行う。日常的に一般新聞紙などのメディアに取り上げられた政治や社会に関する出来事に関心をもって接してほしい。		

科目名	歴史学Ⅱ			ガイダンス日	9/4	夏学期
担当教員	荻野 富士夫			募集人数	若干名	
開講時間	9/4-9/11(P9参照)	教室	211	受講料	9,200円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 現在なお、日本とアジアの人々の間には「歴史認識」のギャップが横たわっている。国際社会のなかで、私たちひとりひとりがその認識の差違をみつけ、埋めていくことが求められている。そのひとつの手がかりとして、一九世紀後半以降の日本と朝鮮・中国の交錯した軌跡をたどり、主に植民地化や侵略の実態とその土壌となる意識の形成と展開に焦点をあてつつ、それぞれの異文化への理解者の存在にも目を向けたい。一週一テーマの講義形式となる。				<b>3.使用教材</b> 毎回プリント教材を配布するほか、テーマごとに参考文献を紹介する。		
<b>2.授業内容</b> ・「琉球処分」 ・朝鮮人への差別 ・「大東亜共栄圏」の実態 ・日本の軍隊・兵士 ・戦死傷の諸相 ・戦争への抵抗 ・「従軍慰安婦」				・中国人蔑視観の形成 ・皇民化政策(創氏改名) ・戦争の目的と呼び方 ・「汝の敵日本を知れ！」 ・アジア歴史資料センターについて ・BC級戦犯問題 ・靖国神社		
				<b>4.履修上の注意事項</b>		

科目名	環境科学			ガイダンス日	9/12	夏学期
担当教員	八木 宏樹ほか			募集人数	若干名	
開講時間	9/12-9/22(P9 参照)	教室	211	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 目的: 私たちは水がなくては生きていけないが、水を意識することは少ない。水は飲み水だけではなく、河川、湖沼、海、あるいは生物体内にも存在する。これらの水が私たち生物にとっていかに重要であるか、また、私たちを取り巻く水環境が今どのような状況にあるのかなど、本授業では、私たちの身の回りの水を自然科学的見地から講義する。 方法: オムニバス形式で授業を進める。各回の授業はOHPもしくはパワーポイントを用いた講義を中心とする。				第8回 災害と水 第9回 流れと水 第10回 小樽運河と水 第11回 小樽港と水 第12回 海のはなし 第13回 地球環境変動と水 第14回 水資源の保全 第15回 試験		
<b>2.授業内容</b> 第1回 ガイダンスと水のしくみ ー生物学の立場からー 第2回 水のしくみ ー物理学の立場からー 第3回 水のしくみ ー化学の立場からー 第4回 暮らしの中の水 第5回 産業と水 第6回 河川と水 第7回 小樽の水環境				<b>3.使用教材</b> テキスト: とくに指定しない。必要に応じてプリント等を配布する。 参考書: 「水の世界地図」(丸善)		
				<b>4.履修上の注意事項</b> 授業内容の詳細については最初の授業で説明する。また、身の回りの水について科学的な見地から講義を進めるので、日頃から身の回りにある「生物」や「環境」に注意を払っておくこと。		

科目名	人文科学特別講義			ガイダンス日	8/18	夏学期
担当教員	堀 雅彦			募集人数	若干名	
開講時間	8/18-8/26(P9 参照)	教室	211	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 現代社会における「宗教(的なるもの)」の位置とその変容を、歴史を振り返りつつ具体的な現象に即して明らかにしていく。受講者からの質問やコメントを受け、素朴な疑問を排することなく授業を進める。この講義に期待できる効果は、宗教に関する様々な情報を読み解く力(リテラシー)の向上である。				第11回 日本人にとっての「宗教」(1)「無宗教」の実態 第12回 日本人にとっての「宗教」(2)民俗宗教の生命力 第13回 日本人にとっての「宗教」(3)新宗教の歴史と傾向 第14回 「スピリチュアル」文化の興隆と宗教のゆくえ 第15回 まとめと展望		
<b>2.授業内容</b> 第1回 ガイダンス 第2回 国内ニュースの中の「宗教」(1)オウム真理教事件 第3回 国内ニュースの中の「宗教」(2)靖国問題 第4回 世界の宗教分布と宗教類型論 第5回 キリスト教の成り立ちと思想の基本 第6回 映像に見るキリスト教の現在 第7回 イスラームの成り立ちと思想の基本 第8回 映像に見るイスラームの現在 第9回 仏教の成り立ちと思想の基本 第10回 映像に見る仏教の現在				<b>3.使用教材</b> 特に使用せず、スライドと配布資料により、授業を進める。 ニュースやドキュメンタリー、映画のワンシーンなど、諸種の映像資料も用いる。		
				<b>4.履修上の注意事項</b> この科目は、今年度昼間コースで開講されている「宗教学」と同じ内容であるため、どちらか一方の科目しか履修できない。		

科目名	日本文学Ⅰ			ガイダンス日	9/29	後期
担当教員	中村 史			募集人数	若干名	
開講時間	月曜 6 講	教室	104	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> この授業は題して「古典文学の世界Ⅰ(一部動物編)」とし、日本の文学と文化の一端を知っていただくことを目的としています。日本の古典文学作品、『日本霊異記』『源氏物語』『枕草子』『更級日記』『今昔物語集』『宇治拾遺物語』等の幾つかを取り上げ、口承文芸をも範囲とします。仏教等の思想に触れつつ、また、インドや中国他の外国文学の作品との比較の視点を持ちつつ授業を進めることがあります。				<b>3.使用教材</b> テキストはとくに定めません。レポート用図書は購入していただきます(授業中に指示)。		
<b>2.授業内容</b> ・オリエンテーション ・古典文学に見る動物(猫編)→『源氏物語』『更級日記』等 ・古典文学に見る動物(犬編)→『枕草子』『今昔物語集』等 ・狐女房譚(…たん)→『日本霊異記』、各地の口承文芸 ・ 蚕の始まり→遠野の口承文芸 ・ 飛倉の巻→『宇治拾遺物語』『信貴山縁起絵巻』 * 状況を見て予定を変更することはあります。				<b>4.履修上の注意事項</b> 古典文学を対象とする授業ですので、履修者は、古典文法を修得しており、かつ、古文・漢文を一定以上読めることが前提となっております。  小テストの遅刻者は小テストを受けることができません。 電子メールで履修や成績評価等の重要な事柄について連絡をする場合には必ず大学から与えられているメール・アドレスを使ってください。携帯メール等で問い合わせても回答はできません。		

科目名	外国文学			ガイダンス日	9/29	後期
担当教員	李 賢峻			募集人数	若干名	
開講時間	月曜 6 講	教室	401	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> この講義の狙いは、日韓の近代文学に直接触れる機会を持ち、その上、文学作品を批評的な視点から読む力を養うことにあります。				Keywords:恋愛、毒婦、樋口一葉、翻案小説、『長恨夢』、李光洙、有島武郎、新女性、崔承喜、モダンガール		
<b>2.授業内容</b> 本講義では戦前における韓国の近代文学史を抑えながら、日韓の女性表象を巡る代表的な作品を講義していく予定です。その際、比較文学における「影響」と「受容」という視点に着目しつつ、両国における歴史や文化のなかで育まれてきた「女性像」を探ります。そのなかで、日韓それぞれの独自の文学世界を合わせて検討します。授業で扱うテキストは、主に日韓の近代文学作品(小説・詩)ですが、内容に応じて作家の日記や新聞・雑誌、そして映画などを用い、多様な観点から作品理解を追究します。				<b>3.使用教材</b> 手作りのプリント		
				<b>4.履修上の注意事項</b> この授業は、朝鮮語の知識がなくても履修できます。講義は日本語で行います。履修を希望する人は初回のガイダンスに出席するようにしてください。		



科目名	化学 I	ガイダンス日	9/29	後期	
担当教員	沼田 ゆかり	募集人数	若干名		
開講時間	月曜 6 講	教室	211		受講料
<b>1.授業の目的・方法</b> 我々が日常使う食品、衣料品、電化製品はもとより、地球、生き物、そして我々自身、あらゆるものは物質できており、化学は生活を支える役割を果たしている。このため、化学に関する正しい知識は理系・文系を問わず、すべての人に必要である。本授業では高校で化学を深く学ばなかった人でも理解できるよう、化学の基礎を平易に解説する。必要に応じてパワーポイントを活用して説明を行う。 本科目の履修を通して、獲得が期待される能力・技能は以下の通りである。 ・化学の基礎知識を習得し、簡単な化学の計算ができる。 ・授業で扱う分野の基本的な原理や法則が理解できる。		・化学結合と物質の構造 ・物質の三態と相平衡 ・化学反応の速さと平衡 ・酸と塩基 ・酸化と還元			
<b>2.授業内容</b> ・原子の成り立ちと周期律		<b>3.使用教材</b> 新版 教養の現代化学(三共出版)			
		<b>4.履修上の注意事項</b> 化学の知識を学ぶと同時に、科学的なものの考え方である「筋道を立てて考える論理的な思考」も習得できるよう、心がけること。 化学は知識の積み重ねが必要な学問である。初学者が授業内容を理解するためには、高校で化学を学んだ人よりもある程度の努力が必要であることに注意すること。			

科目名	財務会計概論	ガイダンス日	9/29	後期	
担当教員	二村 雅子	募集人数	5 名		
開講時間	月曜 6 講	教室	406		受講料
<b>1.授業の目的・方法</b> 簿記および会計学の基本的な知識を習得した者を対象とする科目である。簿記原理では個々の会計処理・貸借対照表および損益計算書の作成手続を理解すること、そして会計学原理では個々の会計処理の考え方を理解することに主眼が置かれていた。この講義では、これまで学習してきた基本的な知識を前提として、財務会計の各領域について学習する。 この講義を学習することによって、財務諸表の主要項目に関する会計処理および財務諸表の作成方法を理解できるようになることを目指す。授業は、教科書を用いる。		7. 売上高と売上債権 8. 棚卸資産と売上原価 9. 有形固定資産と減価償却 10. 無形固定資産と繰延資産 11. 負債 12. 株主資本と純資産 13. 財務諸表の作成と公開 14. 予備日 15. 定期試験			
<b>2.授業内容</b> 受講者の理解度に応じて適宜変更するが、以下の通り進める予定である。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 財務会計の機能と制度</li> <li>3. 利益計算の仕組み</li> <li>4. 会計理論と会計基準</li> <li>5. 利益測定と資産評価の基礎概念</li> <li>6. 現金預金と有価証券</li> </ol>		<b>3.使用教材</b> 教科書: 桜井久勝(2013)『財務諸表講義 第14版』中央経済社を予定。最新版を用います。 必要に応じてプリントを配布する。			
		<b>4.履修上の注意事項</b> 授業には電卓を持参してください。 1 年次配当科目である「簿記原理」2 年次配当科目である「会計学原理」で学習した内容を理解していることが望ましいです。			



科目名	情報と職業			ガイダンス日	9/29	後期
担当教員	渡邊 文彦			募集人数	制限なし	
開講時間	月曜 6 講	教室	303	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 情報技術の発達は、現代社会のあらゆる分野に影響を与え、産業構造や就業構造にも大きな変化をもたらしている。 この情報化時代に求められる人間像を、過去の時代を顧みながらその姿を追い求めていく。そのため講座では、情報技術と職業のかかわり、情報に関わる職業人の在り方や職業観、勤労観にも触れて学ぶ。 この講義は、社会情報学科科目であり、高等学校「情報」の免許取得のための必修講座でもある。このことを踏まえ、キャリア教育と情報教育の観点から倫理観などについても講義内容に取り入れている。座学中心の講義となるが、毎週講座毎に課題レポート提出をし、学生諸君の発表の場として評価する。				5 情報処理産業と情報処理技術者 6 情報処理とシステム開発 7 情報社会における勤労観・職業観 8 情報社会の進展と倫理観 9 情報社会における勤労体系の変化 10 情報社会における「光と影」 11 最近の雇用問題を考える。		
<b>2.授業内容</b> 1 情報社会の進展と職業 2 情報教育と学校 3 情報化と雇用の変化 4 情報化とオフィス環境の変化				<b>3.使用教材</b> 講義資料をテキストとして講義開始時に配布する。		
				<b>4.履修上の注意事項</b> ① 商学を学ぶ心を重んじ、受講者の資質向上から仁・義・礼・智を高める意識を持つ。 ② 座席は指定する。 ③ 社会人としての資質向上のため、諸連絡、諸届を励行する。		

科目名	市場システム論Ⅱ			ガイダンス日	9/29	後期
担当教員	鈴木 和宏			募集人数	5 名	
開講時間	火曜 7 講	教室	211	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> この授業では、顧客志向のマーケティングを考察・検討する力をつけるために、消費者行動論の基礎知識の習得とその活用能力の養成を目指します。 授業は講義と演習により進めます。講義ではテキストを用いて基礎理論の解説を行い、演習では課題を出しますのでその解答を担当者に発表してもらい、ディスカッションします。発表の際には発表資料を作成してもらいます。				・ 快楽的な消費者 > 感情と消費者行動 > ブランドと消費者行動		
<b>2.授業内容</b> ・ 消費者行動とマーケティング ・ 消費者行動研究の系譜と今日的な消費者像 ・ 功利的な消費者 > 購買意思決定プロセスと情報処理モデル > 動機づけ、関与、情報探索、知識 > 知覚、評価、顧客満足 ・ 生活者としての消費者 > ライフスタイル ・ 他者と関わりを持つ消費者 > 普及理論、クチコミ				<b>3.使用教材</b> テキスト：青木幸弘・新倉貴志・佐々木壮太郎・松下光司(2012)『消費者行動論：マーケティングとブランド構築への応用』有斐閣アルマ		
				<b>4.履修上の注意事項</b> マーケティングの入門を理解している人を想定して授業を進めますので、市場システム論Ⅰの受講をお勧めします。 オリエンテーションで詳細を話しますので、できるだけ参加してください。		

科目名	知識科学基礎			ガイダンス日	9/29	後期
担当教員	芳澤 聡			募集人数	制限なし	
開講時間	月曜 7 講	教室	407	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 記憶と学習、および脳科学の知見から人間の脳の情報処理を理解する。次に、脳を模した工学モデル、及び認知科学モデルを学習し、コンピュータを用いたシミュレーションを通してその動作を確認する。また、機械学習の基礎となるパターン認識の手法を紹介する。				<b>3.使用教材</b> 「思考と脳」、渡邊正孝、サイエンス社、2005、ISBN4-7819-1107-2 他に参考文献を適宜示す。		
<b>2.授業内容</b> ・記憶と脳 ・脳の構造 ・工学モデル(アソシアトロン、パーセプトロン、相互結合型ネットワークモデル) ・認知科学モデル(意味ネットワーク、推論モデル) ・画像処理(エッジ抽出、テンプレートマッチング、ノイズ除去) ・パターン認識				<b>4.履修上の注意事項</b>		

科目名	ドイツ語 I - 2			ガイダンス日	9/30	後期
担当教員	副島 美由紀(火) / 杉浦 康則(木)			募集人数	若干名	
開講時間	火曜 6 講・木曜 7 講	教室	火:212 木:307	受講料	13,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> ドイツ語 I - 2は「会話」「文法」「生活文化の紹介」に配慮した総合教科書(CD付き)の後半部分を使って週2回(火・木)の授業を行ないます。文法はゆっくと進み、会話練習、作文練習を豊富に織り込みながら、最終的に総合的なドイツ語力の向上を目指します。また、折に触れてドイツの文化・風俗を紹介し、ヨーロッパ文化への理解も更に深めていきます。外国語の学習は、あくまで能動的な学習態度が重要です。受講者には、受身にならず、自分から口を開き、自発的なドイツ語でのコミュニケーション練習が求められます。語学の学習には王道はなく日々の勉強が大切となりますが、本来は楽しいものです。後期もまた、ドイツ語を積極的に楽しく勉強していきましょう。				<b>3.使用教材</b> 『シュトラセ・ノイ Ver.2』(新野守弘他著、朝日出版社、2,300 円)		
<b>2.授業内容</b> 1-4 週:【現在完了】【副文】【過去形】 5-8 週:【受動態】【zu 不定詞】 9-12 週:【形容詞】【再帰代名詞】 13-15 週:【関係代名詞】【接続法Ⅱ式】など				<b>4.履修上の注意事項</b> 火曜と木曜の授業は連動しており、2 単位は一括して出ますから各曜日もれなく出席すること。語学は毎日少しずつでも勉強するように心がけましょう。尚、ドイツ語 I - 2はドイツ語 I - 1を修得済みでなければ履修できません。		

科目名	フランス語 I-2			ガイダンス日	9/30	後期
担当教員	(火)高橋 純/(木)尾形 弘人			募集人数	若干名	
開講時間	火曜 6 講・木曜 7 講	教室	火:407 木:308	受講料	13,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 前期に引き続き、フランス語の基礎的な運用能力(話す、聞く、読む、書く)の養成を目指します。口、耳、目、手を総動員して練習に取り組んでください。大いに間違いを繰り返しながら、少しずつ着実に定着させていきましょう。				8課:過去の行為を述べる。 9課:命令する。 10課:過去の状態を述べる。 11課:未来のことを語る。条件づける。 12課:感情を表す。		
<b>2.授業内容</b> 各課のテーマは下のとおりです。1つの課を4回程度の授業でこなしていく予定です。				皆でわいわいやりながら、しかしポイントでは集中して、フランス語という新しい世界を楽しみましょう。		
1課:これは、あれは～だ。 2課:～をもっている。 3課:いろんな行為を表すには。 4課:～ではない。 5課:誰? 何? 6課:～へ行く、～から来る。 7課:できる、したい。				<b>3.使用教材</b> 江島 泰子『アレグレス』、第三書房		
				<b>4.履修上の注意事項</b> 辞書については追って指示する。		

科目名	中国語 I-2			ガイダンス日	9/30	後期
担当教員	嘉瀬、加藤			募集人数	若干名	
開講時間	火曜 6 講・木曜 7 講	教室	火:LL2 木:301	受講料	13,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 中国語 I-1 で得た基礎の上に立ち、中国語の能力が更に充実するよう、読み、書き、話し、聞く力の向上を目的とします。 より実践的な会話表現を、目と耳と口を用いて使いこなせるよう、繰り返し練習します。受講生の中国語が上達するよう、やや長い会話や文章に取り組みますので、皆さんは授業に積極的に参加してください。				完了表現 介詞 副詞 連動文 離合動詞 助動詞 経験文 進行文 二重目的語 補語		
<b>2.授業内容</b> 日常生活でよく用いられる、一般的で使用頻度の高い表現を学びます。文型はやや複雑ですが、中国語 I-1 の延長ですから、予習復習を怠らなければ心配はいりません。使える単語や表現を増やし、より正確な発音ができるよう、教科書の練習問題などに取り組みます。教科書のほかに、様々な話題を紹介する機会も増えることでしょう。中国語のみならず、中国に対する多角的な視点を手に入れてください。 教科書で取り上げる主な学習内容は次の通りです。				<b>3.使用教材</b> 『中国語の香り1』裴崢・楊志剛・嘉瀬達男		
中国語 I-1 の復習				<b>4.履修上の注意事項</b> 予習・復習を怠らないこと。 教科書以外の中国語に積極的にふれること。		

科目名	情報システム論			ガイダンス日	9/30	後期
担当教員	沼澤 政信／原口 和也			募集人数	制限なし	
開講時間	火曜 6 講	教室	406	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 前半(担当:沼澤)は、近年の情報社会における社会・生活基盤としての情報システム、およびビジネス利用や情報共有を目的とした情報システムのあり方について考えます。 後半(担当:原口)は、情報システムを活かした現実問題の解決手法の例として、オペレーションズ・リサーチ(OR)を取り上げます。ORの基本手法から始め、問題解決に用いられるアルゴリズムやORソフトウェア、更には応用事例に至るまで幅広く紹介します。				[後半] ● ORの基本的な手法 ● アルゴリズム(計算の手順) ● ORソフトウェア ● 応用事例		
<b>2.授業内容</b> [前半] ● 情報システムとは ● ネットワークと情報システム ● ビジネスと情報システム ● 情報共有のための情報システムなど				<b>3.使用教材</b> 後半はテキストを使用しません。適宜資料を配布します。		
				<b>4.履修上の注意事項</b> ● 前半はグループ演習を課すことがあります。 ● 詳細な注意事項は、オリエンテーションにて説明します。		

科目名	基礎数学			ガイダンス日	9/30	後期
担当教員	赤塚 広隆			募集人数	若干名	
開講時間	火曜 7 講	教室	211	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 本科目では、数学の基本的な考え方や論理を身につけることを目的として、初等整数論を学習する。整数の除法や素因数分解のように多くの人が知っていることから始め、整数の性質を説明していきたい。 本科目は基本的に板書で授業を進める。また、適宜、問題演習の時間を設ける。				<b>3.使用教材</b> <a href="http://www.otaru-uc.ac.jp/~akatsuka/">http://www.otaru-uc.ac.jp/~akatsuka/</a> で授業資料を配布する。原則、5日前までには次回の授業資料をアップロードするので、各自印刷して授業に参加すること。また、授業中に適宜、参考書を紹介する。		
<b>2.授業内容</b> 1. 様々な数、背理法 2. 整数の除法 3. 約数、倍数、最大公約数 4. ユークリッドの互除法 5. 整数係数一次方程式 6. 数学的帰納法 7. 素数 8. 素因数分解 9. 合同式 10. フェルマーの小定理 11. ウィルソンの定理				<b>4.履修上の注意事項</b> 簡単な四則演算ができれば理解できる授業を行う予定である。しかし、証明などの論理にもある程度の重点を置くつもりである。そのため、論理の積み重ねを厭わないことが求められる。		

科目名	商法 I			ガイダンス日	9/30	後期
担当教員	河森 計二			募集人数	制限なし	
開講時間	火曜 7 講	教室	413	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> (授業の目的) この講義は、会社法について扱います。この講義では、会社形態のなかでその数が最も多く国民経済に影響力のある株式会社を中心に、そもそも会社とは何か、株式会社はどのように設立するのか、株式はどのように取引が行われているのか、会社の役員になるとどのような責任があるのか、株主と役員の間で利害が衝突した場合はどのように考えるべきか、会社を合併するにはどうすればよいのか、など、具体的な裁判例を紹介しながら解説します。なお、この講義は 2 単位科目のため、会社法を取り巻く法制度の内容の一部割愛しなければならない部分があります。そのため、この講義では、会社法の基本的な枠組みを理解することに努めてください。 (授業の方法) この授業では、PowerPoint を使用します。また、毎回レジュメを配付して、具体的事例をみんなで考え、参照しながら解説するという方法で行いたいと思います。				<b>2.授業内容</b> 1.会社法の構造 2.会社の種類 3.会社の意義と目的 4.会社法の基本原則 5.経営の決定と責任 6.経営の監督 7.株主の役割 8.会社の資金調達 9.組織再編 10.企業買収とその防衛策  <b>3.使用教材</b> (1)教科書：落合誠一『会社法要説』(有斐閣、2010年) (2)その他、講義ではレジュメ等を配付します。  <b>4.履修上の注意事項</b> その他、詳細はガイダンスでお話しします。		

科目名	倫理学			ガイダンス日	10/1	後期
担当教員	久保田 顕二			募集人数	若干名	
開講時間	水曜 6 講	教室	104	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 道徳や倫理とは、「すべし」という命令を伴う規範のある種のもので(たとえば、「約束を守るべし」、「困っている人を助けるべし」)、概して、これに従うことはわずらわしいものです。にもかかわらず、私たちはなぜこれに従うのでしょうか、あるいは、従わなければならないと考えるのでしょうか。そうしないと自分自身が周囲から手厳しい非難を浴びるから、といった理由がすぐに思い浮かびますが、しかし、なぜ「痛い思い」をさせるそのような仕組みを、社会は受け入れているのでしょうか。さらに、もっと深く考えてみて、道徳や倫理の存在意義は、単に何かの不都合や不利益を避けるため、ということに尽きているのでしょうか。 倫理学とは、こういった、一見、考えても答えが出そうにない問題を突き詰めて考えていく学問です(厳密に言う「哲学」の一部門です)。しかし、こういった問題を考えることによって、私たちには間違いなく、人間や社会のある面がよく見えてきますし、また、より身近な効用として、どうすべきかの決断に迷う場面で、何らかの指針が得られるようになります。				講義では、欧米の倫理学の中でこれまでに提唱されてきたさまざまな考え方を紹介していきますが、話が抽象的になりすぎないよう、多数の具体例を使って平易な説明を試みます。  <b>2.授業内容</b> 1. 序論—道徳・倫理とは、倫理学とは— 2. 倫理学の分野—規範倫理学、メタ倫理学など—  3. 帰結主義の倫理学—功利主義と利己主義— 4. 義務論の倫理学—カントの倫理学— 5. 正義の問題—配分の公正さとは—  <b>3.使用教材</b> テキストは使用しませんが、参考文献を随時紹介します。  <b>4.履修上の注意事項</b> 高校時代に「倫理」を履修したか否かは問いません。		



科目名	社会学Ⅱ			ガイダンス日	10/1	後期
担当教員	佐藤 雅浩			募集人数	若干名	
開講時間	水曜 6 講	教室	105	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> この講義では、社会学の理論と方法を用いて、健康や病気、医療、逸脱現象などについて考察するためのスキルを身につけることを目的とします。講義の前半では、20 世紀初頭から「医療社会学」と呼ばれて発展を続けてきた、社会的な医療研究の実例や理論を紹介し、病人役割、逸脱と医療化、専門職論、医師患者関係の分析など、これまでの医療社会学が取り組んできた基本的な研究テーマについて概説します。また講義の後半では、近年注目されつつある「健康と病いの社会学」の観点から、一般社会における健康や病気という現象の社会性について考察します。				・近代医学の認識体系 ・健康と格差 ・伝統医療と近代医学 ほか		
<b>2.授業内容</b> ・医療と社会 ・医療社会学とは何か ・病人役割、病気行動 ・医師患者関係 ・逸脱と医療化 ・病気と健康				<b>3.使用教材</b> 特定のテキストは使用しません。講義中に配布する資料、および、講義中に紹介する参考文献を参照してください。		
				<b>4.履修上の注意事項</b> ・履修希望者数が教室の定員を大幅に超える場合は、履修制限を行うことがありますので、必ず初回の講義に出席すること。 ・講義中、周囲の迷惑になるような行為(私語等)に対しては、厳しく対処します。		

科目名	行政法Ⅰ			ガイダンス日	10/1	後期
担当教員	石黒 匡人			募集人数	制限なし	
開講時間	水曜 6 講	教室	413	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 行政法とは「行政に特殊固有の法」とであると定義されることもある。 行政法学の基礎と重要問題を講義することによって、その「特殊固有な」法とはいかなるものか理解してもらうことを目的として、具体的な事例をできるだけとりあげながら、進めていく。				<b>4.履修上の注意事項</b> 定期試験の解答については、鉛筆・シャープペンシルによることは認めない。 第1回目の講義の際に行うガイダンスを必ず聞いたうえで履修を決定すること。		
<b>2.授業内容</b> 1 序論 2 行政法の基本原理 3 行政の作用 4 行政手続 5 国家補償 6 行政争訟						
<b>3.使用教材</b> いずれかの六法。 参考書は講義の際に紹介する。						

科目名	経営学原理			ガイダンス日	10/1	後期
担当教員	小田 福男			募集人数	5名	
開講時間	水曜 7 講	教室	211	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b>				<b>3.使用教材</b>		
<p>この科目は経営学関連科目の中で基礎的な科目として位置付けられています。そこで、経営学に関する基礎的な知識を体系的に講義します。わが国で最も普及している経営学教科書の一つである『ゼミナール経営学入門』を利用して、経営戦略を中心に「経営環境のマネジメント」を講義します。</p> <p>プロジェクターを利用して講義を実施します。なお、受講人数を考慮しつつ、双方向型の授業方法を取り入れる予定です。</p> <p>本科目の履修を通して獲得が期待される能力・技能は、経営学の「経営環境のマネジメント」部分についての基礎的知識にもとづいて現実を分析する能力です。</p>				<p>教科書：『ゼミナール経営学入門(第3版)』(伊丹敬之・加護野忠男著,日本経済新聞出版社,2003年) 参考文献：『経営戦略の論理(第4版)』(伊丹敬之著,日本経済新聞出版社,2012年)その他。</p>		
<b>2.授業内容</b>				<b>4.履修上の注意事項</b>		
<p>「経営環境のマネジメント」</p> <p>第1章 戦略とは何か</p> <p>第2章 競争のための差別化</p> <p>第3章 競争優位とビジネスシステム</p> <p>第4章 多角化と事業ポートフォリオ</p> <p>第5章 企業構造の再編成</p>				<p>積極的な授業参加を期待します。</p>		

科目名	言語コミュニケーション論			ガイダンス日	10/2	後期
担当教員	山田 久就			募集人数	若干名	
開講時間	木曜 6 講	教室	401	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b>				<b>3.使用教材</b>		
<p>人間のことば(言語)を研究する学問を言語学と呼びますが、言語学の周辺領域について学び、ことばの多様な面とことばを取り巻く環境について理解を深めることを目指します。</p>				<p>基本的には、コンピュータ画面をスクリーンに投射したものを主教材とします。</p> <p>参考資料として、プリントを配布します。一部を除き、配布したプリントは最後に示すサイトに pdf ファイルで置きます。</p>		
<b>2.授業内容</b>				<b>4.履修上の注意事項</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション、記号、ことば</li> <li>・世界の言語</li> <li>・文字</li> <li>・点字</li> <li>・ことばと文化</li> <li>・ことばと社会</li> <li>・手話</li> </ul>				<p>より具体的な情報を下記のサイトに載せているので、参考にしてください。</p> <p>サイト：(学内からのみアクセス可) <a href="http://www.otaru-uc.ac.jp/~hisanari/cl/lang.com">http://www.otaru-uc.ac.jp/~hisanari/cl/lang.com</a></p>		

科目名	経営管理論			ガイダンス日	10/2	後期
担当教員	加賀田 和弘			募集人数	5名	
開講時間	木曜 6 講	教室	211	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 経営管理とは、企業がその目的を達成するために、行う、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源を、いかに調達・配分・組み合わせ・統合するかに関する様々な意思決定とその活動のことである。 授業の目的:本講義では、なかでも「ヒト」、特にその「協働体」としての「組織」に注目し、組織を形成・協働させ、活性化するための手法と経営者・管理者の役割について分析・考察する。またこれらを通じて、今日の組織をめぐる経営管理のあり方や課題について考察することを副次的目的とする。 方法:授業は講義形式とするが、3 回程度グループ・ディスカッションを行う。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織構造</li> <li>・ 動機付け</li> <li>・ 経営理念と組織文化</li> <li>・ グループ・ディスカッション</li> </ul>		
<b>2.授業内容</b> (以下は、進行状況等に応じて変更する場合があります。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営管理論基礎</li> <li>・ 組織と個人</li> </ul>				<b>3.使用教材</b> 教科書として、『ゼミナール経営学入門[第 3 版]』(伊丹敬之・加護野忠男著,日本経済新聞社, 2003 年) 第Ⅱ部「組織のマネジメント」を使用。		
				<b>4.履修上の注意事項</b> 教科書はなるべく購入すること。		

科目名	法学			ガイダンス日	10/2	後期
担当教員	多木 誠一郎			募集人数	制限なし	
開講時間	木曜 6 講	教室	413	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> (目的) 法学が対象している法を、私たちが日常生活において意識することはあまりないと思いますが、実は重要な役割を果たしています。朝起きてから夜寝るまでに皆さんは色々な行動をしますが、意識するしないにかかわらず、法が密接に関わっています。行動の多くが、法的にみて何らかの意味があることです。 本科目の履修を通じて、上記のような法と日常生活の密接な関わりを考えていくことをきっかけにして、法学の基本的な考え方を身につけることを目的とします。 (方法) 指定する教材にできるだけ沿って担当教員が解説する形で、授業を進めていきます。上記目的を達成するために、できるだけ日常生活に即した事例を参照しながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。				<b>2.授業内容</b> 日常生活上の色々な契約に関する法／日常生活上のアクシデントに関する法／家族関係に関する法／企業に関する法／紛争の解決に関する法		
				<b>3.使用教材</b> 池田真朗ほか『法の世界へ』(有斐閣、第5版、平成24年)		
				<b>4.履修上の注意事項</b> コツコツと地道に勉強していきましょう。		



科目名	情報処理		ガイダンス日	10/2	後期
担当教員	中村 隆志		募集人数	5名	
開講時間	木曜 6 講	教室	情報処理センター 第3実習室	受講料	
<b>1.授業の目的・方法</b> パソコンの普及と優れた応用ソフトウェアの出現により、プログラミングは不要の時代になったと言われる。しかし、これはあくまでエンドユーザの話であって、ソフトウェア開発においては、当然ながらプログラミングは必要不可欠である。計画科学の分野でも、最適化問題解法アルゴリズムの開発等にはプログラミングに関する考え方が重要となる。 この授業では、プログラムの基本的な作成方法をマスターすることを目的として、講義・実習を行う。使用するプログラミング言語はCで、エンパカデロ・テクノロジーズのC++ Builderを利用する。変数、配列の概念、プログラムの制御構造、関数の使い方などのプログラミングの基礎を学習する。			<b>3.使用教材</b> [教科書] 大石弥幸:「例題で学ぶはじめてのC言語 [改訂版]」、ムイスリ出版 [参考書] 高橋麻奈:「やさしいC 第4版」、ソフトバンククリエイティブ 柴田望洋:「新版 明解C言語 入門編」、ソフトバンククリエイティブ		
<b>2.授業内容</b> 1)プログラミング言語と処理系 2)入出力と演算 3)分岐と繰り返し 4)配列 5)関数			<b>4.履修上の注意事項</b> ・授業は5～6週を情報処理センター実習室で実習主体に行い、残りは普通の講義室で講義する。 ・実習室に入れる人数には限りがあるため、履修希望者が100人以上ならば、履修制限を行う場合もある。 ・第1回目の授業(オリエンテーション)でこの授業専用の履修申込書を配布するので、必ず出席すること。これを提出しないと、履修は認めないので注意すること。詳細については、開講前に掲示するので、必ず掲示を見ること。		

科目名	国際経済と現代		ガイダンス日	10/2	後期
担当教員	柴山 千里		募集人数	5名	
開講時間	木曜 7 講	教室	303	受講料	
<b>1.授業の目的・方法</b> この授業では、国際貿易と貿易政策の理論を講義します。なぜ貿易が行われるのか、どの国が何を貿易するのか、貿易が行われることによって、誰が利益を得、誰が損失を被るのか、一国全体の観点から見るとともに、特定の市場に注目して分析する方法を学びます。 また、貿易政策やFTA(自由貿易協定)、WTO(世界貿易機関)の経済学的意味についても明らかにしてゆきます。 この授業を習得することで、応用ミクロ経済学としての国際貿易の理論によって、貿易の仕組みと貿易政策の効果を理解することが出来るようになります。			9.補助金の効果 10.地域経済統合 11.不公正貿易 12.貿易と雇用		
<b>2.授業内容</b> 1.リカード・モデル 2.貿易の利益 3.ハクシャー・オリーン・モデル 4.新しい貿易理論 5.要素移動 6.空間経済学と貿易 7.関税の効果 8.数量制限の効果			<b>3.使用教材</b> 授業で用いるパワーポイントのキーワードを空白にしたノートを以下のホームページで公開しています。授業前にダウンロードして講義に臨んで下さい。ただし、学内サーバーからのみアクセス可能ですので、注意して下さい。 <a href="http://www.otaru-uc.ac.jp/~chisato/WWW2/lecturenote.html">http://www.otaru-uc.ac.jp/~chisato/WWW2/lecturenote.html</a> さらに参考文献として最適なテキストがあります。 阿部顕三・遠藤正寛著『国際経済学』有斐閣		
			<b>4.履修上の注意事項</b> 1.授業の受講方法、課題の提出方法、成績配点に関する重要な情報はオリエンテーションでお知らせしますので、必ず出席して下さい。 2.問い合わせは、 <a href="mailto:chisato@res.otaru-uc.ac.jp">chisato@res.otaru-uc.ac.jp</a> まで。		

科目名	民法Ⅱ	ガイダンス日	10/2	後期
担当教員	林 誠司	募集人数	制限なし	
開講時間	木曜 7 講	教室	406	
		受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 本講義は、民法第3編債権(第5章不法行為を除く)に関する法制度、各種の法的概念の概説を行い、これらについての知識、及び、法的思考力を涵養することを目的とする。		XII. 消費貸借・使用貸借・賃貸借 XⅢ. 雇用・請負・委任 XⅣ. 寄託・組合・和解 XⅤ. 事務管理・不当利得		
<b>2.授業内容</b> I. 債権の目的(特定物債権と種類債権、金銭債権) II. 債権の効力(強制履行、債務不履行、受領遅滞) III. 責任財産の保全 IV. 多数当事者の債権関係(分割債務、連帯債務、保証債務など) V. 債権関係の移転(債権譲渡、債務引受など) VI. 債権の消滅(弁済、代物弁済、相殺など) VII. 契約の成立 VIII. 契約の効力(同時履行の抗弁、危険負担等) IX. 契約の解除 X. 贈与 XI. 売買・交換		<b>3.使用教材</b> 教科書:池田真朗『スタートライン債権法』(日本評論社、第5版) 参考文献:『別冊ジュリスト No.196 民法判例百選Ⅱ 債権[第六版]』(有斐閣)		
		<b>4.履修上の注意事項</b> ・教科書・六法は各自必ず購入し、毎回持参すること。 ・民法Ⅰを履修していることが望ましい。 ・本講義は学生各自の予習を前提とする。		

科目名	経営システム基礎	ガイダンス日	10/2	後期
担当教員	深田 秀実	募集人数	制限なし	
開講時間	木曜 7 講	教室	407	
		受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b> 本講義では、企業の仕組み全般について、それぞれの仕組みの位置付けや相互関係などを理解することを目的とする。 今後(3年次および4年次)の企業経営にかかわる専門科目の内容を個別独立したものとして学習するのではなく、それぞれが有機的に連携しているものとして理解していくことが重要である。 講義の内容は企業における業務の仕組みや組織の仕組み、組織運営の仕組みなどに関する基礎的な事項とする。また、今後の企業に期待される方向性などについても言及する予定である。		・経営を支える情報システム ・企業に期待される今後の方向性など		
<b>2.授業内容</b> 第1回:ガイダンス、以降 ・会社の設立と機関の仕組み ・業務および組織の仕組み ・経営の仕組み ・経営体質と会社変革要因		<b>3.使用教材</b> 必要資料を適宜配布する。		
		<b>4.履修上の注意事項</b> (1)第1回目の講義で、授業計画を詳細に説明する予定。 (2)成績評価方法の詳細についても、第1回講義で説明。 (3)本シラバスの内容とオリエンテーションでの説明に差異がある場合は、オリエンテーションでの説明が優先される。		

科目名	経済と統計			ガイダンス日	10/3	後期	
担当教員	劉 慶豊			募集人数	3名		
開講時間	金曜 6 講	教室	211	受講料	9,200 円		
<b>1.授業の目的・方法</b> この授業の目的は経済現象を分析するための統計学の基本的な知識を習得することと具体的な経済統計の指標を理解することです。基礎的な統計学関連科目となります。授業では講義と Excel による実習を行います。 本科目の履修を通して獲得が期待される能力・技能は以下の通りである。 ①統計指標を用いて経済データの特性を把握できる能力。 ②基本的な経済指標を理解できて、国の基本的な経済状況を理解する能力。 ③基礎的な Excel の操作技能。				06. 人口統計 07. 格差と家計 08. 物価指数 09. GDP に関して 10. 借金財政と財政再建 11. 確率の基礎 12. 基本的な確率分布 13. 母数の推定 14. 平均と平均の差に関する検定 15. 散布図、相関係数などで見る二変量経済指標間の関係			
<b>2.授業内容</b> 以下の内容に関して 15 回に分けて講義と Excel による実習の形式で行います。 01. 経済データと統計学 02. 一変量経済データの整理 03. 所得データの例 04. 平均と分散 05. 平均と分散で評価する株式の収益率				<b>3.使用教材</b> 教科書： <a href="#">御園謙吉</a> , <a href="#">良永康平</a> 『よくわかる統計学 II 経済統計編』ミネルヴァ書房, 2007。 講義中に追加資料を配布します。			
				<b>4.履修上の注意事項</b> 十分に予習と復習をすること。			

科目名	憲法Ⅱ			ガイダンス日	10/3	後期	
担当教員	小倉 一志			募集人数	制限なし		
開講時間	金曜 6 講	教室	401	受講料	9,200 円		
<b>1.授業の目的・方法</b> 日本国憲法の講義として扱われる内容は、「憲法総論」「基本的人権」「統治機構」の3つのパートから構成されるが、本講義は、「統治機構」の領域を対象とする。テキスト(下記参照)の内容に沿いながら、それぞれの規定が持つ意味内容を学説・判例ともからめつつ、明らかにしていきたい。				<b>3.使用教材</b> 芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法[第5版]』(岩波書店・2011年)及び、六法(出版社、サイズは問いません)。			
<b>2.授業内容</b> 0. オリエンテーション 1. 国会 2. 内閣 3. 裁判所 4. 財政 5. 地方自治 * 詳細な授業内容(授業計画)については、第1回目のオリエンテーションでお示しする予定です。				<b>4.履修上の注意事項</b> ・「夜間主の憲法Ⅱ」は、半期2単位であることから、同一領域を扱う「昼間の憲法Ⅱ」の半分の授業時間しか与えられていません。従って、「夜間主の憲法Ⅱ」では扱えない部分も生じてしまうことを予めご了承ください。 ・講義中の私語、携帯電話の使用など、他の受講者の迷惑になる行為については、厳しく対処します。迷惑行為を繰り返す者に対しては、成績評価を行いません。 ・テキスト・六法は毎回持参すること。 ・講義内容の予習・復習をきちんと行うこと。「統治機構」に関する基礎的な知識は高校までの政経などで修得済みの学生が多いと思いますが、この授業は「『大学』の『専門科目』」として開講されるものです。努努(ゆめゆめ)油断なさらぬように。			

科目名	統計科学			ガイダンス日	10/3	後期
担当教員	小笠原 春彦			募集人数	制限なし	
開講時間	金曜 6 講	教室	406	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b>				(7)分散分析一元配置モデル・分散分析表、平方和の期待値 (8)自由度と検定統計量 (9)分散分析二元配置モデル・分散分析表 (10)要因の交互作用 (11)アンバランス型データの処理		
トピックスは統計学の中心である統計的推定・検定である。統計的推定とは限られた情報(標本)から真の値(母集団)を確率の指標とともに求める方法であり、検定とはデータから得られる結論の正しさを確率により判断する方法である。						
<b>2.授業内容</b>				<b>3.使用教材</b>		
(1)授業のねらい、計量的方法の意義と導入 (2)仮説検定の考え方、帰無仮説と対立仮説、 $p$ 値と危険率、両側検定と片側検定、2種の誤り (3)平均の検定(分散既知)と正規分布 (4)スチューデント化統計量と $t$ 分布 (5)分散の検定とカイ自乗分布、等分散の検定と $F$ 分布 (6)ノンパラメトリック検定、順位和とその分布				スライドを使用する。		
				<b>4.履修上の注意事項</b>		

科目名	社会情報入門			ガイダンス日	10/3	後期
担当教員	大津晶／沼澤政信			募集人数	制限なし	
開講時間	金曜 7 講	教室	211	受講料	9,200 円	
<b>1.授業の目的・方法</b>				[後半] ● 情報のための基礎数学 ● コンピュータ基礎知識 ● ネットワーク基礎知識 ● 近年の情報関連研究の動向など		
本科目は、社会情報学科の専門領域への導入科目です。 本学科の専門分野に関する基礎的事項や各種トピックを解説することにより、2年次以降で学ぶことの概要について理解してもらうことを目的とします。 前半(担当:大津)は、科学的な問題発見／問題解決のための基礎的な考え方を身に付けるために、「客観的なデータ」を用いつつ「最適化」という観点で身の回りの出来事や社会の仕組みを見直しながら、数理科学的なものを見方を学びます。 後半(担当:沼澤)は、情報関連科目に関する入門です。情報分野に必要な数学の基礎、情報処理のためのコンピュータおよびネットワークの基礎知識、近年の情報関連研究の動向、研究成果などに着目し、そのいくつかを取り上げて講義します。				<b>3.使用教材</b> 前半、後半ともにテキストは使用しません。 本講義では、受講生各自が所有するノート PC やタブレット型端末等(スマートフォンでも可)を使用した受講生参加型の協調学習を一部実施します。詳細についてはオリエンテーションで説明します。なお、当該機器を所有しない受講生が成績評価で不利に取り扱われることはありません。		
<b>2.授業内容</b>				<b>4.履修上の注意事項</b>		
[前半] ● 正しいデータの読み方 ● 直感の大切さと危うさ ● 不確実な未来と戦略的思考 ● 最適化の発想 など				● グループ演習を課すことがあります。 ● 詳細な注意事項は、オリエンテーションにて説明します。		













## 平成26年度 行事予定

### 【前期】

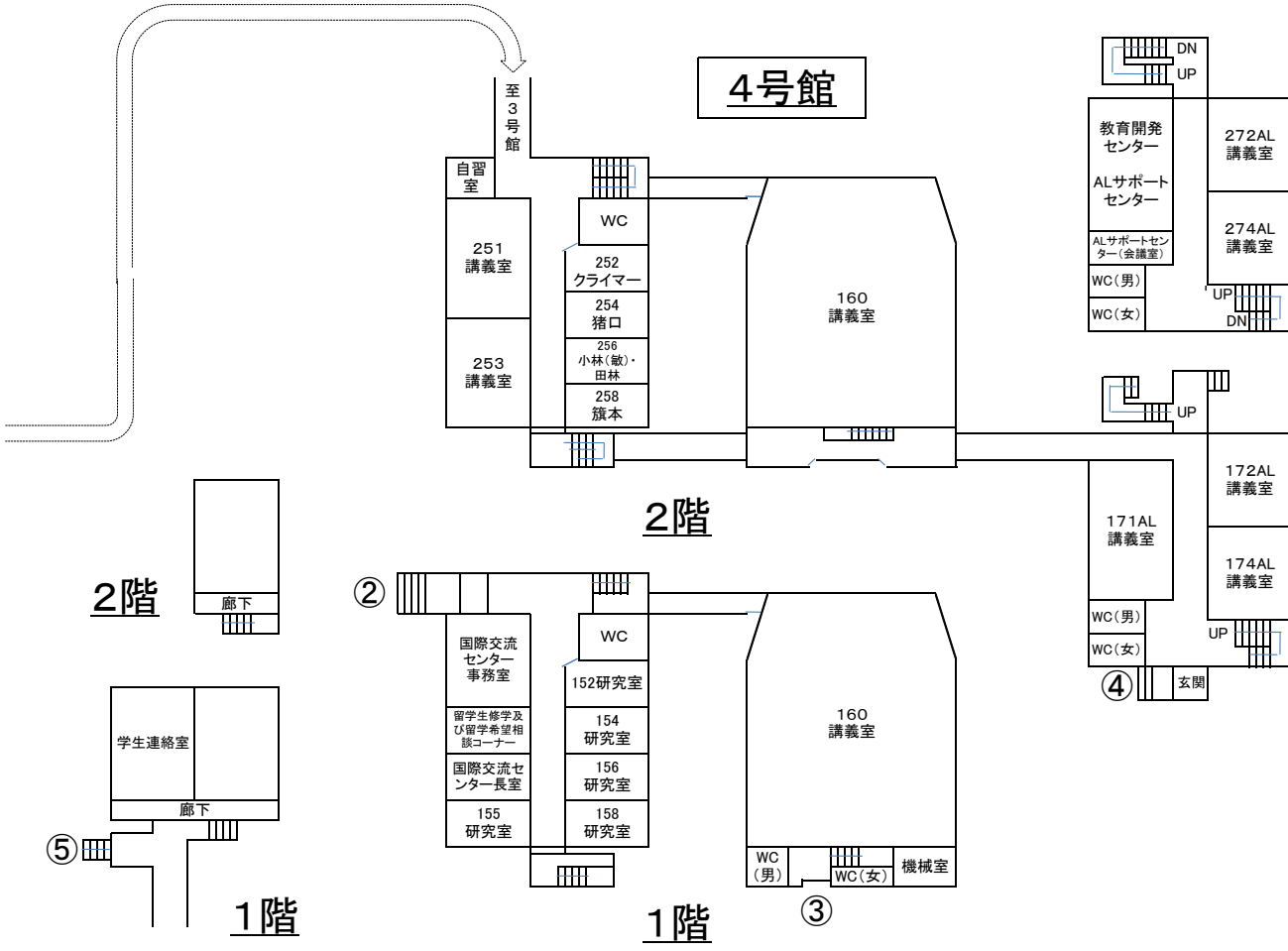
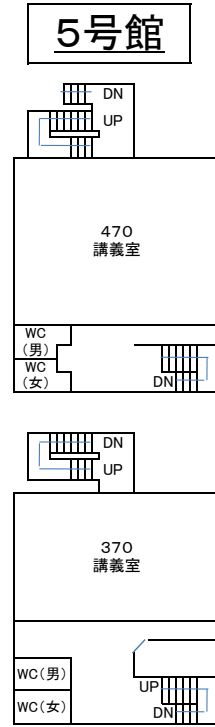
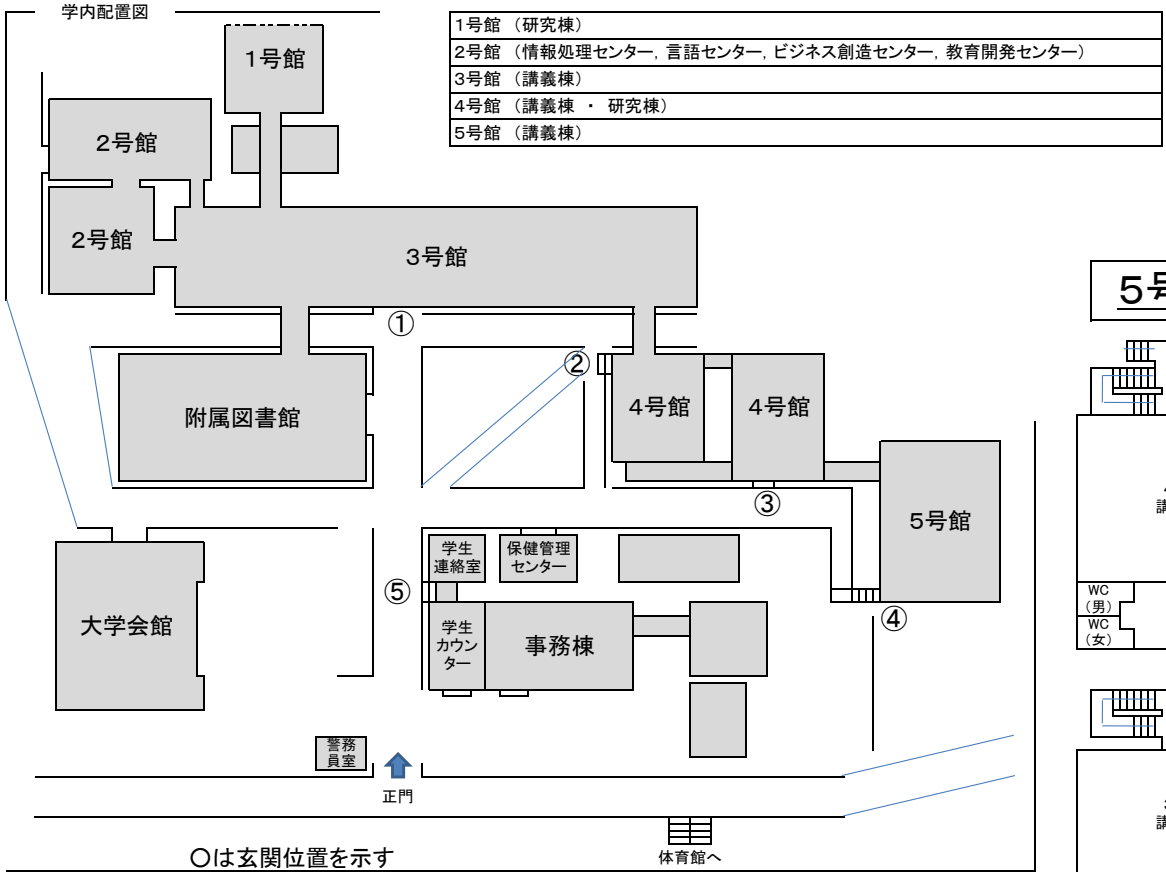
- 4月 3日 (木) 入学式
- 4月 7日 (月) 前期授業開始
- 7月25日 (金) 前期授業終了
- 7月23日 (水) 月曜日分の授業日
- 7月24日 (木) 大学祭分休講の授業日
- 7月25日 (金) 大学祭分休講の授業日
- 7月30日 (水) 補講日
- 7月31日 (木) ~ 8月 7日 (木) 前期期末試験
- 8月 8日 (金) ~ 9月28日 (日) 夏季休業
- 8月18日 (月) ~ 9月22日 (月) 夏学期

### 【後期】

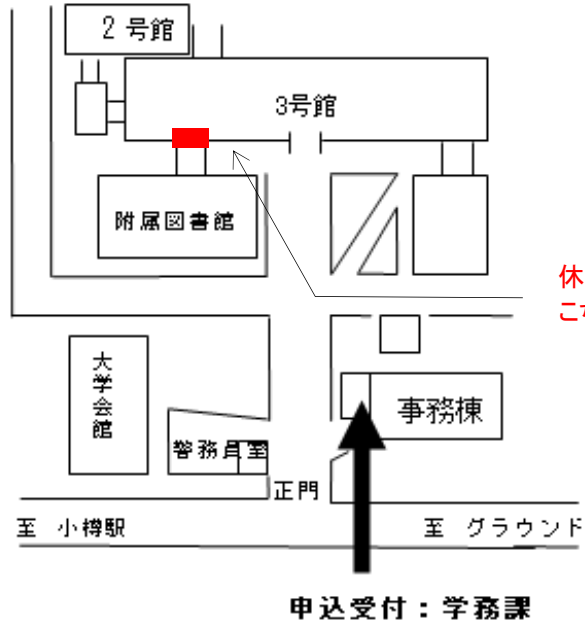
- 9月29日 (月) 後期授業開始
- 12月23日 (火) ~ 1月12日 (月) 冬季休業
- 1月13日 (火) 月曜日分の授業日
- 1月14日 (水) 月曜日分の授業日
- 1月16日 (金) 臨時休業 (センター試験の準備のため)
- 2月 5日 (木) 補講日
- 2月 6日 (金) 後期授業終了
- 2月 9日 (月) ~ 2月17日 (火) 後期期末試験

★ 行事予定に変更があった場合は、掲示でお知らせしますので、掲示には十分注意してください。



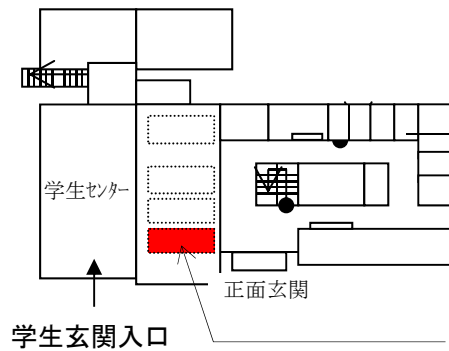


## 学内案内図(受付場所)



休講情報・教室変更等、講義に関する情報は、  
こちらに掲示されます。(国際交流ラウンジ前)

## 事務棟1階



公開講座担当窓口(学部教務係)

※学生玄関からお入りください

## 小樽駅から小樽商科大学まで

- 小樽駅前JRバスターミナル乗り場 3 番より「小樽商大線(中央バス)」に乗車「小樽商大前」下車 (この間約 10 分)。料金は 220 円。
- 小樽駅前からタクシーで約 5 分。料金は約 800 円。
- 小樽駅前から徒歩で約 30 分